



真心の行動
慈愛の奉仕
平和に挺身

1995-96年度国際ロータリーのテーマ

ハーバート G ブラウン
国際ロータリー会長

第2560地区
ガバナー——重田政信
会長——石橋育於
会長エレクト——捧賢一
副会長——五十嵐総一
幹事——松谷昊吉
副幹事——五十嵐昭一
S A A——清水良一
副 S A A——菊池涉

例会日——毎週水曜日 12:30～
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事務局——三条信用金庫本店内
例会場——TEL 35-3311
事務局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	80名中 57名
先々週出席率	86.67 %
前年同期出席率	

4 / 9 三条北へ

渋谷健一さん、外山一郎さん、
五十嵐晋三さん、船越正夫さん、
加藤紋次郎さん

ゲスト

ロータリーの友編集長、別所直實殿

先週のメイクアップ

4 / 8 三条南へ

渡辺喜彦さん、山田富義さん、
関本哲秀さん、松谷昊吉さん、
藤田紘一さん、加藤紋次郎さん、
高橋一夫さん、林 光輝さん

会長挨拶

南ロータリークラブ 丸田会長



皆さん今日は、南クラブの丸田で御座います。

本日は、昨年につきまして3クラブ合同雑誌月間例会で御座います。

今年は南クラブが担当ですので本日の例会を設営させて頂きました。

私たちがロータリーの情報を得るには数多くのメディアが御座いますが、中でも最も重宝しているのが、月刊誌の「ロータリーの友」でないでしょうか。

しかし、現状では「ロータリーの友」を精読される人三分之一、パラパラと見る人三分之一、全然みない人三分之一と言われております。

今日は、ロータリーの友事務所々長で編集長でもいらっしゃいます、別所直實様を東京からお迎えして、「ロータリーの友」についてのご講演を頂きます。

少し例会時間を延長するかも知れませんがご清聴下さい。

又、是非この機会に「ロータリーの友」を理解され、精読されますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

雑誌月間

三クラブ合同例会

雑誌月間と「ロータリーの友」

ロータリーの友事務所所長
別所直實殿

雑誌週間は1943年1月から始まる。

1911年1月にロータリアン誌の前身The National Rotarianが創刊され、それを記念して1月をあてたと思われる。1940-49年まで日本はR I から脱退していた。その間での設定である。

1905年にロータリーが発足し、1910年に16クラブとなり、全米ロータリークラブ連合会(The National Association of Rotary Clubs)を結成した。その時ポール・ハリスが全ロータリアンにぜひ訴えたいことがあるとってチェス・ペリー事務総長に相談した。事務総長は手紙では経費がかかると悩んだ。そのロータリー大会で機関誌を出そうという気運に一度はなったが、機関誌を出すと、それに載ったものが、ロータリーを支配するのではないかという意見も出て、採択されなかった。雑誌を出そうという決議は出なかったけれど、雑誌を出してはいけないという決議も出なかったのだから、出してもいいのではないかと考え、発行することになった。

タブロイド版 ページのザ・ナショナル・ロータリアンは最初3,000部、その後2,000部、追加発行された。この内容は「友」に度々載っている。1966年(14巻)2月号と1977年(25巻)、1992年(40巻)の2月号に「合理的ロータリアニズム」(Rational Rotarianism)と題してであ

る。

全米ロータリークラブ第2回大会で月間雑誌とする決議がなされその後ザ・ロータリアンとなった。1933年にスペイン語版のレビスタ・ロータリアもでた(1990年7月1日付けで発行停止)。

雑誌週間は1979年から4月に変わった。ロータリー年度の前半は9月青少年活動週間、10月職業奉仕週間(日本では米山週間も)、11月ロータリー財団週間、後半は1月雑誌週間、2月世界理解週間となっていたが、1月は、どの国でも年の初めで忙しく、特別週間として機能を果たすことができないという理由で少し間隔をおいて4月に決まったようだ。

わが国の雑誌の歴史は戦前「国際ロータリー月報」がでていた。当時は1地区だったので、今のガバナー月信のように使われたものと思う。両面表紙で、全ページの30-25%は英文となっている。当時は日本語の文献はほとんどなく、英語の文献を頼りにしていたようで、ロータリーソングも米国で歌われていたものをそのまま歌っていた。「我等の生業」「奉仕の理想」は昭和10年に全国のロータリアンから、募集したものの一つで、今日まで歌い継がれている名作である。



その頃、日本のロータリーは軍部の圧迫を受けて困難な時代であった。日本、満州、朝鮮、台湾のロータリーが一つになって「日満ロータリー」をつくった。その雑誌が「日満ロータリー月報」で、これも両面表紙で裏のほうは英語になっている。

戦後、日本のロータリーはR I に復帰し、1952年に2地区に分かれたため、互いに連絡を密にするため雑誌をつくること決議され、R I 理事会の承認を得て、1953年(昭和28年)1月に創刊された。縦組みにするか、横組みにするかで論議され、当時横文字をよく使うので横組みになった。2年目(4月)から俳句と短歌を載せるようになり、縦組が入った。縦組のページが増え、縦組と横組が混じると読みにくいから、分けてほしいとの要望があり、現在の形となった。

現在、ロータリーの雑誌は、1,255,338部発行されている。このうち公式機関誌の「ロータリアン誌」が520,000部、その他735,338部が各国の地域雑誌で「ロータリーの友」が139,500部で一番多い。地域雑誌は2種類あり、「公式地域雑誌」と、その他の地域雑誌である。「公式地域雑誌」はR I 理事会によって「承認され、指定された」地域雑誌でクラブ定款12条によって、当該地域の会員は購読を義務づけられている。「公式地域雑誌」は現在「友」を含め23種、他に4種の地域雑誌がある。

「ロータリーの友」は戦後日本のロータリーが2地区にわかれた際、両地区をつなぐ——日本のロータリアンの拠り所として発刊された。1953年1月で3,300

部であったが、44年後の3月号は140,200部、通巻519号を数えている。

「友」は依頼原稿、会員からの投稿、ロータリアン誌からの翻訳、直接取材などによってつくられている。1972年1月から従来の形式を一変して縦組みと横組を画然と分け、両面に表紙があるという画期的な体裁となった。

べっしょなのみ
別所直實・略歴

昭和7年3月1日・東京生まれ
昭和30年3月 中央大学経済学部卒

昭和33年11月 ロータリーの友入社
昭和51年4月 ロータリーの友デスク
昭和63年7月 ロータリーの友副編集長
同 ロータリーの友事務所副所長
平成5年7月 同編集長・同所長
勤務先 東京都港区芝公園2-6-3
a b c 会館8階
ロータリーの友事務所
☎ 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
自宅 東京都大田区池上1-14-18
☎ 03-3753-0392
◎東京みなとロータリークラブ会員



三条RCゴルフ同好会 総会及び第12回大会開催される

昨秋10月に予定されていた第12回大会及び年次総会が諸事情に依り延期となり去る3月28日(木)に新潟SP、出雲崎コースにて、近年になく多数の参加を得て開催されました。又総会(18名)も表彰式を兼ねて開かれ盛況裡に終了しました。

尚総会時、石橋会長より三条ロータリークラブの親睦団体として正式に認可を得た旨の報告があり一同謝意を表し、今後はより一層、会の活性化を図るべく努力することを誓い合いました。

成績は次の通りです。

順位	氏名	イン	アウト	グロス	HDCP	ネット	
優勝	渡辺 喜彦	46	50	96	27	69	
準優勝	小越 憲泰	43	42	85	12	73	ドラゴン
第3位	加藤 紋次郎	43	42	85	11	74	ニアピン(2)
第4位	細井 増雄	50	47	97	22	75	ドラゴン
第5位	五十嵐 総一	58	50	108	32	76	飛賞
第6位	山田 富義	50	59	109	32	77	
第7位	斎藤 弘文	47	43	90	11	79	ニアピン(2) ラッキーセブン
第8位	小柳 直人	51	54	105	24	81	
第9位	佐野 勝栄	52	49	101	19	82	
第10位	丸山 行彦	54	46	100	17	83	飛賞
第11位	五十嵐 力	51	48	99	14	85	
第12位	佐藤 武	49	54	103	17	86	
第13位	松谷 昊吉	48	49	97	8	89	水平賞
第14位	五十嵐 寿一	59	61	120	30	90	
第15位	熊倉 昌平	56	60	116	25	91	BB賞
第16位	渡辺 勝利	57	51	108	17	91	大波賞

勝者予想当選者(2名) 五十嵐寿一、佐野勝栄

第13回大会は6月6日(木)中条カントリーで開催(前日5日は板額苑にて親睦会の予定)各自の手帳に記入しておいて下さい。

